

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第337回

小倉全由

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年1月12日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

みんな、咲いた花を見るのは
好きだけど、咲くまでの過程に
興味がない。花が咲くには
強い根があってこそ。

小倉 全由は、千葉県長生郡一宮町出身の高校野球指導者。教諭。旧姓は斉藤。元プロ野球選手・監督の森繁和は、はとこにあたる。またタレントの小倉優子は親戚。

Column

新年最初のコラムは、一年のスタートというタイミングで自分の目標を達成する（素晴らしい花を咲かせる）ためのモチベーションをこれまで以上に高めてほしいという気持ちで今回の言葉を選びました。目標達成に向けて進んでいる最中は、もちろん自信やワクワクもあるとは思いますが“不安”も常につきまとうと思います。これは目標達成への思いが自分の中で大きければ大きいほどだと思えます。そういう意味では『不安が大きいほど達成する価値がある目標だ！』と自分を励ますように受け止めることもできますが『わかってるけど…』という不安の方が勝ってしまうことも多いのではないのでしょうか。

私たちは社会という様々な組織や立場の中で生活しています。同じ学校のクラスや部活に所属している仲間についてはどのような性格なのか、どのような目標や達成するための課題があってどこで悩んでいるのかはある程度なら読み取ることができるでしょう。しかし、登校中の電車でたまたま向かいに座った社会人の目標や悩みはわかるはずがありません。その人が順調そうな表情であったとしても、実は悩んでいて『今日から仕切り直して頑張ろう！』としている決意の朝なのかもしれません。順調そうな人を見て『うらやましい』と思ってしまいがちですが、その人が充実した表情でいられる理由について人に説明する必要はありません。ですから本当のところは本人にしかわかりません。時々自分の苦勞や心情をわかってほしいと思うことがありますが、なかなか伝わらないことがほとんどです。本気で落ち込んでいる時には打ち明けにくいものです。自分と同じように仲間も知らない誰かも自分の人生を必死で歩んでいます。それを理解し、そのうえで付き合っていくという思いやりの気持ちが必要です。今回の言葉にある『強い根』とは自分の信念のようなものではないのでしょうか。思いやりの行き来の中で仲間を励まし、励まされる中で、まずは自分をしっかりと確立していきましょう！そこがクリアできれば花は自然に咲いてくれるものなのかもしれません。素晴らしい1年にしましょう！